

画像送信方法の比較

|  |               | メール添付                      |  | ACDSee                                  |   | c o c o a                         |   |
|--|---------------|----------------------------|--|---|---|-----------------------------------|---|
|  |               | 送信者                        | 受信者  | 送信者                                     | 受信者   | 送信者                               | 受信者   |
| ソフトウェア                                 | OS            | Windows<br>MacOS           | Windows<br>MacOS   | Windows                                 | Windows<br>MacOS  | Windows<br>MacOS                  | Windows<br>MacOS  |
|  | 送受信           | Outlook<br>等のメールソフト<br>ウェア | Outlook 等<br>のメールソフト<br>ウェア  | ACDSee<br>(Mac 版<br>には画像<br>送信機能<br>なし) | InternetExplore<br>等の汎用ブラウ<br>ザ -   | InternetExplore<br>等の汎用ブラウ<br>ザ - | InternetExplore<br>等の汎用ブラウ<br>ザ -   |
|  | 画像閲覧          |                            | Internet<br>Explore<br>や画像ビュ<br>ワソフトウェア                                    | ACDSee                                  | InternetExplore<br>等の汎用ブラウ<br>ザ -   | InternetExplore<br>等の汎用ブラウ<br>ザ - | InternetExplore<br>等の汎用ブラウ<br>ザ -   |
| 通常インター<br>ネット、メール<br>以外の Web<br>サーバー料金 |               |                            |  | 無料<br>ソフトウ<br>ェアは<br>¥6,800             | 無料<br>ただし ACDSee<br>の広告が入る  | 300 円 / 月<br>(100Mbyt)            | 無料<br>ホルダー共有す<br>る場合は<br>300 円 / 月<br>(100Mbyt)   |
| 画像データの<br>オリジナルサ<br>イズ表示               |               | 可能                         |  | 100 万画素以上は設定値<br>に縮小される                 |   | 可能                                |   |
| 各画像に対応<br>するコメント<br>の挿入                |               | Word 等のソフトと組み<br>合わせ可能     |  | 不可 (全体のみ)                               |   | グループ間で送受信する場合に可能<br>後から編集することも可能  |   |
| 送<br>受<br>信<br>ス<br>ピー<br>ド            | メールを受<br>取るまで | インター<br>ネット環<br>境に異<br>存   | インター<br>ネット環<br>境に異<br>存すべ<br>てのフ<br>ァイル<br>をダウ<br>ンロー<br>ドする<br>時間か<br>かる | インター<br>ネット環<br>境に異<br>存                | サーバー<br>へのア<br>クセス<br>状況に<br>よって<br>か数時<br>間かか<br>る場合<br>もある                              | インター<br>ネット環<br>境に異<br>存          | 添付フ<br>ァイル<br>のない<br>メール<br>を受取<br>るのと<br>ほぼ同<br>じ速さ                                      |
|  | 画像を開<br>くまで   |                            |  |   | インター<br>ネット環<br>境に異<br>存され<br>るが、<br>選択し<br>た画像<br>ごとに<br>アクセ<br>スする<br>為、わ<br>りとス<br>ムーズ |                                   | インター<br>ネット環<br>境に異<br>存され<br>るが、<br>選択し<br>た画像<br>ごとに<br>アクセ<br>スする<br>為、わ<br>りとス<br>ムーズ |

厚労省医療技術評価総合研究事業 テレパソロジー研究班  
平成15年度第1回班会議プログラム

期 日：平成15年9月29日（月）13：00－16：00

場 所：慶應義塾大学医学部 中央棟5Fカンファレンスルーム

- 13：00 開会挨拶 班長 澤井 高志  
厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 武末 文男室長補佐
- 13：20 今年度の活動方針 (15分)  
 <総合> 澤井 高志（岩手医科大学医学部病理学第一講座）
- <経済効果 他> 「胸腔鏡下手術と迅速診断の経済効果」 (10分)  
 谷田 達男（岩手医科大学医学部外科学第三講座）  
 「遠隔医療の経済性検討方法の提案」 (10分)  
 長谷川高志（セコム株式会社IS研究所）
- <関連機器の開発> 「受信画像及び読図結果の評価方法：3D方式の提案」 (10分)  
 一迫 玲（東北大学大学院歯学研究科口腔病理学分野）  
 「テレパソロジーとモバイル環境の現状」 (10分)  
 佐藤 義孝（NTT-MEコンサルティング）  
 「標本全面の画像化とバーチャルマイクロスコープの開発」 (10分)  
 安田 仲宏（放射線医学総合研究所）
- <標準化問題> 「テレパソロジーの標準化－現状と課題－」 (10分)  
 東福寺幾夫（オリンパス光学工業株式会社）
- 14：35 各活動分担内容のお願い／総合討論 司会：澤井 高志
- 15：55 閉会挨拶 慶應義塾大学第三外科 小林 紘一

厚労省医療技術評価総合研究事業 テレパソロジー研究班  
平成15年度第二回班会議プログラム

11:30 開場  
12:15 開会挨拶

班長 澤井高志  
厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 高本和彦室長補佐

12:30 今年度の研究成果発表

【VATSを利用した肺癌手術について（12:30-13:30）】 座長：谷田達男

「我が国における最近の肺癌の傾向」  
小林紘一（慶應義塾大学呼吸器外科）

「VATSの経済効果－臨床の視点から－」  
谷田達男（岩手医科大学医学部呼吸器外科）  
南方良章・一ノ瀬正和（和歌山県立医大第三内科）  
薄田勝男（富山医科薬科大学光学医療診療部）  
佐川元保（金沢医科大学呼吸器外科）  
小林紘一（慶應義塾大学呼吸器外科）

「肺疾患をモデルとした遠隔病理診断が医療の質・経済性向上に果たす役割」  
古谷敬三（愛媛県立中央病院病理部）

「遠隔医療の経済性検討方法の研究－VATS+テレパソロジーの経済性研究、中間報告－」  
長谷川高志（セコム株式会社IS研究所）

【「P to P」の報告と応用（13:30-14:30）】 座長：澤井高志

「インターネットシステムを利用して個人間で行うテレパソロジーシステム『P to P』の  
開発と検証」

澤井高志（岩手医科大学病理学第一講座）  
渡辺みか（東北大学医学部附属病院病理部）  
宇月美和（岩手医科大学病理学第一講座）

「受診画像・読図結果の評価方法－返信用紙の作成－」  
一迫 玲（東北大学歯学部病理）

「『P to P』を利用した肺癌診断の精度管理について」  
黒瀬 颯 (岩手医科大学病理学第一講座)  
一迫 玲 (東北大学歯学部口腔病理)  
猪山賢一 (熊本大学医学部附属病院病理部)  
大城真理子 (沖縄県立北部病院)  
土橋康成 ( (財) ルイ・パストゥール医学研究センター)  
古谷敬三 (愛媛県立中央病院病理部)

「デジタルマイクロスコープ "COOLSCOPE" のインターネット利用」  
秋山広治 (株式会社ニコンインステック 第一営業部営業課)

-----休憩 (10分) -----

【テレパソロジーの応用・標準化とセキュリティの問題 (14:40-15:55)】

座長：井藤久雄

「テレパソロジーの経験」  
井藤久雄 (鳥取大学医学部第一病理)

「細胞診遠隔診断 (テレサイトロジー) の現状評価、課題と将来展望」  
土橋康成 ( (財) ルイ・パストゥール医学研究センター)

「岩手県における遠隔病理診断業務の実状と臨床研修医制度での病理研修への取組みについて」  
佐藤 孝 (岩手医科大学病理学第二講座)

「テレパソロジー技術標準化調査結果報告」  
東福寺幾夫 (オリンパス株式会社)

「テレパソロジーにおけるセキュリティについて」  
山田恒夫 (財団法人 医療情報システム開発センター)

【テレパソロジーに関連した新しい開発 (15:55-16:55)】 座長：土橋康成

「ユビキタス社会でのテレパソロジー」  
佐藤義孝 (株式会社NTT-MEコンサルティング)

「データベース連動型遠隔病理診断支援システム」  
杉森 弘、高松輝賢 (株式会社ダイレクトコミュニケーションズ)

「標本全面の画像化とバーチャルマイクロスコープの開発」  
安田仲宏 (放射線医学総合研究所)

「CSは新たなステージへ」  
原田 豊 (エプソン販売株式会社)

16:55 閉会の辞

小林紘一 (慶應義塾大学呼吸器外科)